

きこえとことばの教室だより



武蔵村山市立第九小学校 校長 村山 博子
令和3年12月（特別号）
きこえとことばの教室



読み書きの苦手さについて

読み書きが苦手な子は、頑張りが足りない？

すらすらと読めない

小さい「やゆよ」を間違える

漢字が読めない・書けない



ひらがなが覚えられない

字がうまく書けない

文章の意味がわかってない

努力不足ではありません

叱ったり、やみくもに何度も繰り返させたりすると、学習の意欲をなくすことがあります

読み書きが苦手な子は勉強が分からない？

難しい話でも聞いてよく理解できる子、記憶力がいい子、いわゆる「勉強ができる子」でも「読み書きに課題がある」場合があります。勉強の内容は分かるけど、読み書きが苦手、という子もいます。

何度も練習すればいい？「やればできる！」は、ほめ言葉？

お子さんを励ます意味で、大人が「10回書いて覚えられないなら20回、30回、頑張りなさい」と言うことがあります。しかし、それは読み書きの課題をもつお子さんには逆効果になることが多いです。みんなと同じやり方では定着しないのに、その学び方しか選択肢がない状態が続くと、「頑張ることは無意味」という経験の積み重ねになり、無力感を感じてしまいます。「やればできる！」は、時に子供を苦しめる声掛けになってしまうことがあります。

苦手さの背景

読み書きの苦手さの原因にはそれぞれのお子さんで違います。例えば、音を聞き分けること、音と文字を一致させること、長さや傾きをとらえること、バランスをとらえること、細かい動きを制御すること、線を合成して文字にすること、言葉の意味を知っている等の力に支えられています。このような力のどこかにつまずきがあると、読み書きがうまくできないことがあります。

つまずきの原因を探る

何が原因でつまずいているのか、探ることが大切です。きこえとことばの教室では様々な検査を実施しています。学年相応の力ではなく、その子の能力の凸凹に合った指導を実施しています。週一回の指導なので、ご家庭と連携して宿題をお願いしたり、自宅でできるアプリなどをご紹介しますこともあります。

♪おうちのかたや、学級担任の先生にお願いしたいこと♪

- ①「これまで苦しかったね」「今まで困っていたんだね」「ここが苦手だからできなかったんだね」「あなたはこの方法で頑張ったらいいんだよ」など、苦手さに寄り添った温かい声掛けをお願いします。
- ②苦手な場合、学年相応の目標を目指す勉強自体が苦しくなります。「今できていること」に目を向けて、「今できていること+1」のことを積み重ねてください。

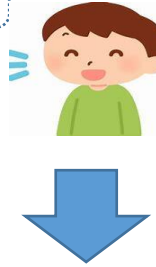
言葉の苦手さについて



子どもから、学校の話聞いてもよくわからない

おしゃべりが上手じゃない

学校であったことを聞いてみても、何を言っているかわからない



言われたことが理解できない

質問したことは違う答えが返ってくる

言葉がなかなか思い出せない

家庭での言葉の環境を整えてあげましょう

言葉の力は学習の土台になります。少し工夫するだけで、言葉の力をのばすことができます。

家庭で言葉を伸ばすには？

家庭で言葉を伸ばすためには、どのようなことを行えばよいのでしょうか。言葉の発達について研究されている中川信子先生のご著書の中から御紹介します。

言葉と脳の関係は①脳幹、②大脳辺縁系、③大脳皮質の3段階に分けて考えられるそうです。

第1段階 生活リズムを整えましょう

お子さんのことばの力を伸ばすためには、頭がぼーっとしている状態ではなく、頭がシャキッとしている状態を作る必要があります。この状態を作るには、「脳幹」の働きを良くする必要があります。そのためには、十分な睡眠、空腹満腹のリズム、生活を規則的に一定のリズムを保つことが大切です。



第2段階 楽しむ気持ちを育てましょう

大脳辺縁系は、「心の脳」とも言われています。やる気、覚える、本能的な価値判断はこの大脳辺縁系の働きによるものです。この働きをよくするには「おもしろい!」「好き!」「楽しい!」「ワクワクする!」「この情報は役に立つ!」という体験が大切です。このような経験をたくさん積むと、ことばの力が伸びる土台ができるそうです。

「好きこそものの上手なれ」「ほめて育てよ」ですね。お子さんと楽しめる、親御さんも一緒にリラックスできるような体験を日常にもてるといいですね。



第3段階 第1、第2段階 プラス 視覚的な手掛かりにことばを添えて話そう

ことばを話す力は、大脳皮質に関わる部分に関係しています。大脳皮質は①脳幹②大脳辺縁系の良い働きの上に、伸びるそうです。さらに、「実物に触れながらことばを添える」、「経験しながらことばを添える」と、言葉の理解が深まるそうです。絵本の読み聞かせもいいですね。また、「気持ちにことばに添えた温かいやり取り」の中で、「気持ちをことばで伝える」力が伸びるそうです。楽しい活動をしなが、家族皆でリラックスした楽しい会話の時間ももてるといいですね。



参考：中川 信子『子どものことばとことばの育ち』大月書店
中川 信子『ことばをはぐくむ』ぶどう社

◇御心配がありましたら、ぜひ一度御相談下さい。 きこえとことばの教室直通電話（563-9594）

